アートの世界に浸る
シルクスクリーンを実演
町和賀町 西「風呂美大」

西和賀町のアートプロジェクト・湯田温泉峡風呂美術大学に参加する美術系大学生による展示入浴会は23日、同町湯本の共同浴場・丑の湯で開かれた。版画技法の一つであるシルクスクリーンを使った作品の展示や実演などが行われ、訪れた人たちは同技法の世界に浸ったほか、施設内で入浴も楽しんだ。

同町の関係者らで組織する銀河ホール学生演劇合宿事業実行委員会の主催。夏冬含めて3回目となる今回は、日本大と東北芸術工科大の学生6人が参加。20～23日の4日間町内旅館に滞在しながら、体験ワークショップを開催したり、オリジナルの手拭いを販売するなどして美術の魅力を伝えた。

学生たちの用意した手拭いは、シルクスクリーン技法を使い町内の名勝・七ツ釜の伝説からイメージを膨らませて女性や雨乞い、自然の豊かさなどをデザインした4種160枚。23日は、この技法を使って事前に制作された手拭いや制作過程を紹介する展示が行われたほか、学生による制作の実演と一般による体験も行われた。

日大芸術学部3年の田中美咲さん（21）＝埼玉県さいたま市＝は「絵画やデザインなど分野の異なる学生が絵柄の違う手拭いを作った。民話とコラボし、シルクスクリーンの魅力を知っていただくきっかけになったと思う」と話した。

購入者は丑の湯に無料で入浴できるおまけ付き。手拭いを購入し、シルクスクリーン技法を体験した同町大沢の主婦越後谷英子さん（72）は「今まで見たことのない手拭いのデザインはメルヘンチックで、知っている名勝が題材になっているということで興味が湧き訪れた。実際に刷ってみると、思ったより簡単で感じが出てきれいにできた」と喜んだ。

シルクスクリーンを実演する大学生を見詰める人たち

「立派な自衛官に」
花巻 入隊・入校予定者を激励

自衛隊入隊・入校予定者激励会（自衛隊北上地域事務所管内協力団体連絡協議会主催）が23日、花巻市湯本のホテル千秋閣で開かれ、関係者は入隊予定者の今後の活躍に期待した。

自衛隊入隊・入校予定者の今後の活躍を期待した激励会

式典で、同協議会の小松喜一会長が「自らを厳しく正し、しっかり目標を見定め努力してほしい」とあいさつ。入隊・入校予定者が一人ひとり紹介された。上田東一市長は「自衛隊は日本において重要な役割を担う組織。きょうの感激を胸に、困難を乗り越え立派な自衛官になってほしい」と祝辞を寄せた。

先輩隊員の激励の言葉や予定者に対する記念品贈呈に続き、入隊・入校予定者を代表して、太田尚大さん（花巻北高校）が「自衛隊を職業として選んだことに誇りを持ち、心身ともに自身を鍛え、困難に立ち向かう姿勢で頑張りたい。立派な自衛官として活躍している自分の姿を夢見ながら、それぞれが希望を持

親子ら参加し企業
北上 スキー、スノーボードを楽しむ「企業間プラス会」（北上商工会議所主催）

ウインタースポーツ交流会「企業間プラス会」（北上商工会議所主催）

会場の一角では、湯田小学校の児童が制作したキャンドルや絵画、かばんなどが展示され、訪れた人を楽しませた。

町の売りである温泉と美術系大学生とがコラボすることから命名した「風呂美術大学」と銘打ったユニーク企画。2013年2月に開始し、これまでにも温泉施設と学生が協働し施設の作品化などに取り組んでいる。